

地域にお客さんを呼ぶ**コツ**読本

【歴史】という切り口の見つけ方



はじめに

歴史や文化は地域に限らず建造物・企業・人と誰もが持っているものですが、そのオリジナリティや魅力に気づいていない人も多いものです。また複雑な歴史や解説を伝える難しさも感じていないでしょうか？当社は長年にわたりフィクション・ノンフィクションを問わず、日本の歴史や神話、伝承を分かりやすく解説する書籍を制作しております。全国の偉人や事件を調べていると、地域に埋もれてしまっている魅力的な歴史があることがわかりました。このままではもったいない、周知してもらおう方法はないかと考え、本事業を立ち上げました。また、歴史ある法人さまの魅力を紹介したり、地域と結びつけて法人さまやそのサービスをご紹介できるとも考えました。集客アップ・地域活性化・啓発活動にお役立ていただければ嬉しく存じます。

目次

- 歴史資源が集客のきっかけとして注目されている P3
- なぜ【歴史】を絡めた集客が良いのか？ P4
- 史実とフィクションのバランスのコツ P5
- 漫画にすることで生まれるわかりやすさ P6
- 【歴史】活用は地域にお客さんを呼べる！ P7
- お客さんに『歴史の魅力』をどう感じてもらうか P8

歴史資源が集客のきっかけとして注目されている

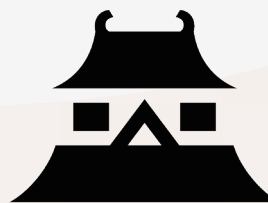
いま、地域の歴史・文化遺産の活用に注目が集まっている。

「城泊」「寺泊」といった体験型宿泊をはじめ、日本各地に点在する「歴史」を活用したコンテンツへの注目度は、国内はもちろん国外からのインバウンド客からも大人気なのである。

観光庁も「歴史的資源を活用した観光まちづくり事業」を推進中だ。

歴史的資源は、現存、復元された箱物に限られるわけではない。城跡、合戦場跡、砦跡、関所跡、政庁跡、偉人や歴史的有名人ゆかりの場所など、

日本の歴史と関わってきた歴史的資源は数限りない。皆さんの近所で子供の時遊んでいた神社が実は、日本の歴史の中でも画期的で、日本で初の事績があるところかもしれない。【日本初】【何周年記念】など話題になるトピックが人知れず眠っていることも多い。また、樹齢何百年の樹木があるかもしれない。みなさんが普段接している「古いもの」が実は【日本史】において重要なトピックやエピソードを構築しているかもしれない。そして、それを活用していこうというのが現在の流れである。



なぜ【歴史】を絡めた 集客が良いのか？



「地元にはそこまで目玉となるような有名な歴史は無い」「自分たちの地域には観光客を呼べるような神社仏閣は無い」と思い込んでいる人も多いのだが、もっとシンプルに考えてみよう。歴史・文化は地域に限らず建造物・企業・人と誰もが持っているものだ。衣食住ひとつとっても、それには歴史の蓄積がある。地域の人たちにとっては「あたりまえ」のことであっても、外から来るお客様にとっては「非日常体験」「真新しい観光地」になりうる。

これら日本独自の歴史や島国がはぐくんできた豊富な自然は魅力的で注目、興味の的となる。各地の神社の木々ひとつとっても、どれも樹齢千年以上もある。それは歴史の一部でもあり、神秘的な魅力がある。

日本の今までを知ることは、内外の客に対して訴求力になるのだ。

さらに、歴史を絡めた集客は、地域の伝統と文化を保持し持続可能な観光資源の維持を目指す、**サステナブルツーリズムにも深く関わってくる**。建造物の歴史を活かした観光や、そこでしか経験できない文化体験はその場所の歴史の保持や伝承にも繋がっていく。

つまり、歴史という切り口は、唯一無二のオリジナリティや魅力にもなりうるのだ。



史実とフィクションの バランスのコツ

史実にだけこだわって、当時の風俗や髪型や化粧などを再現してコンテンツを作ってしまうと、現代の我々から見て地味で暗いものになってしまう事が多い。せっかくコンテンツにするなら見た目が明るくわかりやすいほうが良いので史実と違うとわかっていてもフィクションの要素も積極的に取り入れよう。例えば時代劇の江戸の様子は日本の時代劇文化で培われたもので、実際の江戸時代とは違う。だが、それを納得している人も多いので、あえて時代劇文化に合わせたりすることもエンタメ化のテクニックのひとつだ。

『エンタメ化』することで得られる利点

文章でのみ説明するより【キャラクター】【ビジュアル図版】【マンガ】などのエンタメコンテンツ化の方がより多くの人に理解されやすい。歴史というと、どうしても年号や人名で難しくなりがちだが、そこをわかりやすくアイコン化することでより多くの人に興味をもってもらえる。

一方、【歴史】を活用することへのハードルもある

歴史に関してはなにが正しいかわからないことが多く諸説もある。そこで、当該地域に教育委員会がある場合は、そこに確認するのが一番。教育委員会でわからない場合は外部の専門家の先生に頼ろう。

漫画にすることで生まれる わかりやすさ

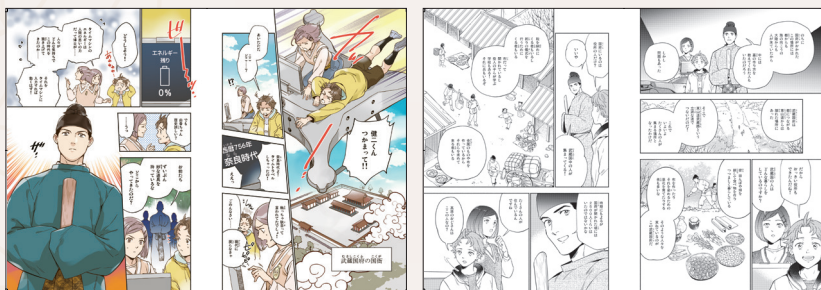
歴史は、難しい漢字や地名、人名が多く文章だとわかりづらい。文章に漢字が並んでいるだけで苦手という人もいます。

漫画という媒体は、ストーリーを絵と文章の両方で見せることができる。漫画にすることで親しみやすくわかりやすくすることができる。例えば、右図の



漫画では当時起こったさまざまな歴史的出来事を2コマで視覚的に伝えることができている。もちろん多くの情報を伝えたい場合は漫画のページ数がそれなりに必要だが、わかりやすくまとめる方法もある。

マンガを作るのが難しい場合は、絵と文章、図版などを組み合わせた絵物語でもわかりやすい。



学習まんが 国分寺・府中の歴史（国分寺・府中観光振興連絡協議会）

武蔵国 国分寺・府中の歴史を子どもたちにわかりやすく伝えるマンガパンフレットの制作に参加。当社はマンガ・コラム制作、冊子デザインを担当した。

【歴史】活用は地域にお客さんを呼べる！

歴史はその地域にしかない唯一性の高いものなのだ。

地域の「売り」という裏付けがあり、それをなおかつエンタメ化することによって一過性ではなく恒久的な集客を期待できる。

そして、歴史を活かした滞在型地域周遊観光を成功させるには、**地域の人を巻き込む必要がある**。地域の人を巻き込むことは、集客を持続するためには重要な要因だ。地域の人たち自身が自分たちの地域の「売り」が明確でない＝集客へのモチベーションが低い状態では新しい試みも生まれにくい。

地域の魅力をエンタメコンテンツすることは集客のきっかけになると同時に地域の人々が自分たちの地域の魅力を理解するきっかけにもなるだろう。

地域の人々が、その地域の「売り」を理解することにより、新たなアイデアが生まれるだろう。例えば、地域の歴史の魅力を活かしたフード・土産物、御朱印やスタンプラリーなど様々な商品を開発する糸口にすることもできる。



お客さんに『歴史の魅力』を どう感じてもらうか

Sample1. マップ

地域の城、屋敷、神社、寺、史跡などを歴史街歩きマップなどでまとめることで特定地域で周遊してもらうことができる。せっかく訪れた観光客を点ではなく面で地域に親んでもらう。その際、地域独特の食べ物などがあればさらによい。イラストマップだとより親しみやすい。

Sample2. ツアー

日本文化である建物、石垣などの建築技術、お祭り、鎧・武士・刀などの伝統文化や、食文化の体験をツアーパッケージなどで提案する。体験は国内外どちらにも需要がある。

Sample3. ガイド

地域のガイドを育成するとともに、専門家の先生にオリジナルのガイドブックなどを作ってもらいと地域の独自性が出る。



制作事例

歴史という切り口からの 新たな見どころの発見と訴求



伊豆大島 歴史観光ツアー

ここがポイント

- レジャーメインの観光地に歴史の切り口の視点で新たな集客を提案
- 神社周遊＝パワースポットめぐり

ツアー企画『神話と歴史を紐解く！伊豆大島パワースポット4神社巡り』

マンガでわかる滝山城

ここがポイント

- 城自体は現存しない城跡をマンガにすることで、主人公たちと共に歴史の追体験ができる



まんが『マンガでわかる滝山城』（滝山城築城500年記念事業）

史実×フィクションは、 おもしろいエンタメの基本

会社概要

株式会社榎本事務所

代表取締役社長 本田彩音（鳥居彩音）

代表取締役会長 福原俊彦（筆名：榎本秋）

事務所所在地

東京都練馬区大泉町 2-54-8 SELLY 加計呂麻 402

HP <https://enomoto-office.com/>

メールアドレス eg@enomoto-office.com

【歴史作家】・【時代小説作家】

【出版プロデューサー】

榎本 秋

enomoto aki

戦国時代、江戸時代の日本の歴史を中心に東洋、ヨーロッパを含め歴史全般に造詣が深く、若者向けエンタメ文化にも詳しい。

出版、コンテンツ事業、大学、専門

学校などでの教育事業にもかかわり、複数の専門学校で学科のカリキュラム作成にも関わっている。作家、小説家、小説編集者、プロデューサーとしてフィクション、ノンフィクションを問わず500冊以上の本に関わってきた。

難しい歴史を【わかりやすい語り口】【ビジュアル図解】【イラスト】などを利用して歴史新書・歴史ビジュアル本・学習まんが・時代小説など幅広い分野で活躍している。



老舗鰻店の紹介漫画

ここがポイント

- 老舗店の実際の歴史を紹介する中で、戦国武将を登場させよりわかりやすく身近に



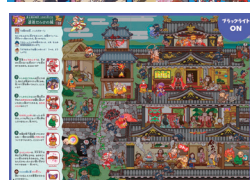
パンフレット『伊達家ゆかりの地大和町・御飯屋物語』（竹亭）

児童向けしかけ絵本

ここがポイント

- たのしめる見栄えや構成の都合、史実と異なる描写も
- 歴史好きやお城好きの子どもも満足できる史実に忠実な描写も重要

『ブラックライトでさがせ！妖怪探偵歴史旅行』（パイ・インターナショナル）



お客さんを呼ぶ、史実×フィクションという歴史の切り口

サービス資料はこちらから



当資料のデジタル版も上記にて配布しております。ぜひご活用ください。

榎本事務所

